

7/25 統合データベース講習会「AJACSa6 河内」開催！ DBCLS（大学共同利用機関法人のデータベースセンター）と本学附属部門が主催

【本件のポイント】

- 生命科学分野のデータベース活用推進が目的
- AJACS を補完する中上級者向けの講習会
- 遺伝子データ発現定量化を学ぶハンズオン講習会

学校法人 関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）は、7月25日（木）9時から枚方学舎医学部棟1階第1講義室において、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター（以下「DBCLS」）と本学附属生命医学研究所侵襲反応制御部門が主催する「AJACSa6 河内」を開催いたします。

これは、生命科学分野における研究活動で収集されたデータを蓄積し、次なる研究のためにデータベース化することで、画期的な研究成果の創出を狙って国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）が開催している初心者向け講習会 AJACS※1 を補完する中上級者向けのもの。当日は、DBCLS から講師を招き、RNA-seq※2 で得られる遺伝子発現データを定量化する方法を学ぶハンズオン講習会を行う予定です。

■ 「AJACSa6 河内」開催概要

開催日時	7/25（木）9：30～17：00・7/26（金）9：30～12：00（個別技術相談）
場 所	関西医科大学枚方学舎医学部棟 1階第1講義室 〒573-1010 大阪府枚方市 2-5-1
プログラム	9：30～10：00 「遺伝子データ解析とは？」 DBCLS 坊農 秀雅 氏 10：00～11：30 「疾患・表現型データベース-Gendoo,OMIM,他」 DBCLS 仲里 猛留 氏 13：00～17：00 「遺伝子データ発現解析の実際（ハンズオン）」 DBCLS 坊農 秀雅 氏

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（田淵、岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

主催・共催

主催：情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター
関西医科大学附属生命医学研究所侵襲反応制御部門

共催：関西医科大学大学院講座（予定）

参加申込み

プログラムの詳細ならびにお申込みは

<http://dbcls.rois.ac.jp//ja/2019/06/25/post1.html> をご覧ください。

（申込締切：2019年7月18日(木)まで）

■用語集

※1 「AJACS」

All Japan Annotator/Curator/System DB administrator の頭文字であり、ライフサイエンス分野のデータベース統合を担う人材、アノテーター（Annotator）、キュレーター（Curator）、システムデータベース管理者（System DB administrator）の総称。

※2 「RNA-seq」

次世代シーケンサーを用いた発現解析。細胞の中の mRNA や miRNA の配列を解読して、遺伝子発現解析における様々な目的に対応する手法です。

細胞内の RNA の絶対量を数えることができるようになる可能性があるため、従来の発現量の計測手法を置き換えるとも言われています。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（田淵、岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp